



平成 26 年度 泉大津市予算

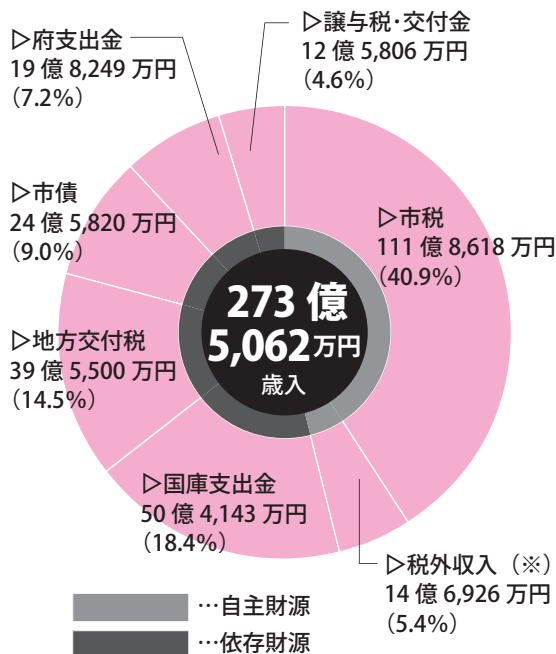
一般会計は前年度比 5.7% 減の 273 億 5,062 万円

【平成 26 年度予算の概要】

本市の一般会計、特別会計、企業会計の全会計における総額は、前年度比 1.1% 増の 593 億 4,739 万円、うち、一般会計は前年度比 5.7% 減の 273 億 5,062 万円となっています。一般会計において、約 16 億 6,622 万円の減となっているのは、継続事業として実施していた南海本線連続立体交差事業や河原町市営住宅整備事業などの工事費の減が主な要因です。 問合せ 財政課（市役所 4 階）

■ 平成 26 年度 当初予算 ※表示単位未満を四捨五入している関係で、計が一致しないことがあります

会計名	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)	増減額 (A - B)	増減率
一般会計	273 億 5,062 万円	290 億 1,683 万円	▲16 億 6,621 万円	▲5.7%
特別会計	207 億 8,955 万円	201 億 8,118 万円	6 億 837 万円	3.0%
企業会計	112 億 722 万円	95 億 740 万円	16 億 9,983 万円	17.9%
計	593 億 4,739 万円	587 億 541 万円	6 億 4,198 万円	1.1%



■ 歳入の概要

歳入は、市税や使用料・手数料など地方自治体の権限で収入できる財源「自主財源」と地方交付税や国府支出金など国や府の意思決定に基づき交付される財源「依存財源」に分けることができます。

【自主財源】

自主財源は、前年度と比較して 1.8% 増の 126 億 5,544 万円（2 億 2,674 万円の増）、歳入全体の 46.3% と見込みました。このうち、自主財源の柱である市税は、法人市民税の増収を見込み、2.3% 増の 111 億 8,618 万円としました。

また、税外収入については、前年度と比較して 2.0% 減の 14 億 6,926 万円としました。このうち、市民の皆さんにご負担いただいている一般家庭ごみ収集手数料は 1 億 140 万円を見込んでいます。

【依存財源】

依存財源は、前年度と比較して 11.4% 減の 146 億 9,518 万円（18 億 9,296 万円の減）、歳入全体の 53.7% と見込みました。この主な減の要因としては、南海本線連続立体交差事業、河原町市営住宅整備事業、南海中央線街路整備事業などの投資的経費にあてる市債の減によるものです。

※税外収入…諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■ 歳出の概要

地方自治体の歳出を分類する方法には、経済的性質に分類した「性質別経費」と、行政目的に分類した「目的別経費」があり、それぞれ円グラフのとおりとなっています。

地方自治体の経費を性質別にみると、「義務的経費」・「投資的経費」・「その他の経費」に分類することができます。「義務的経費」とは支出が義務付けられており、任意に節減することのできない経費（人件費・扶助費・公債費）で、「投資的経費」とは学校や道路などの建設・整備に要する経費です。そして、歳出全体から「義務的経費」および「投資的経費」を除いた経費を「その他の経費」としています。

本市の性質別経費およびその構成比は、義務的経費 159 億 5,509 万円（構成比 58.3%）、投資的経費 12 億 613 万円（構成比 4.4%）、その他の経費 101 億 8,940 万円（構成比 37.3%）となっています。

■ 性質別内訳

【義務的経費】

義務的経費は、前年度と比較して0.7%減の159億5,509万円（1億856万円の減）、歳出全体の58.3%としました。扶助費については、生活保護費のほか、高齢者、児童、障がい者などに対する社会保障関係費として5.7%増の79億4,605万円（4億2,948万円の増）と見込んでいるものの、人件費は4.7%減の42億1,781万円（2億621万円の減）、市債の償還に係る公債費については、8.0%減の37億9,123万円（3億3,182万円の減）と見込み、主な減の要因となりました。直近5年間の扶助費の推移については右上の棒グラフをご参照ください。

【投資的経費】

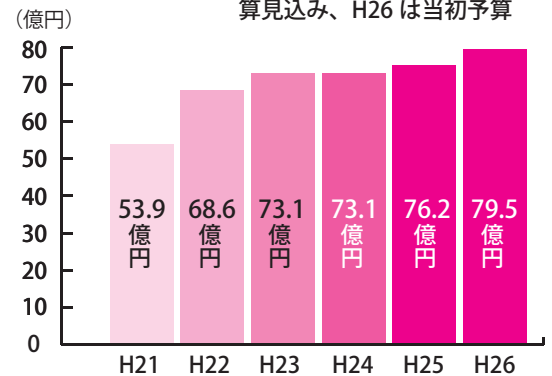
投資的経費は、前年度と比較して64.3%減の12億613万円（21億7,553万円の減）、歳出全体の4.4%としました。この減となった主な要因は、南海本線連続立体交差事業費を4億4,618万円（9億4,787万円の減）、河原町市営住宅整備事業費を8,601万円（8億5,914万円の減）、南海中央線街路事業費を723万円（6億1,710万円の減）と見込んだことによるものです。

【その他の経費】

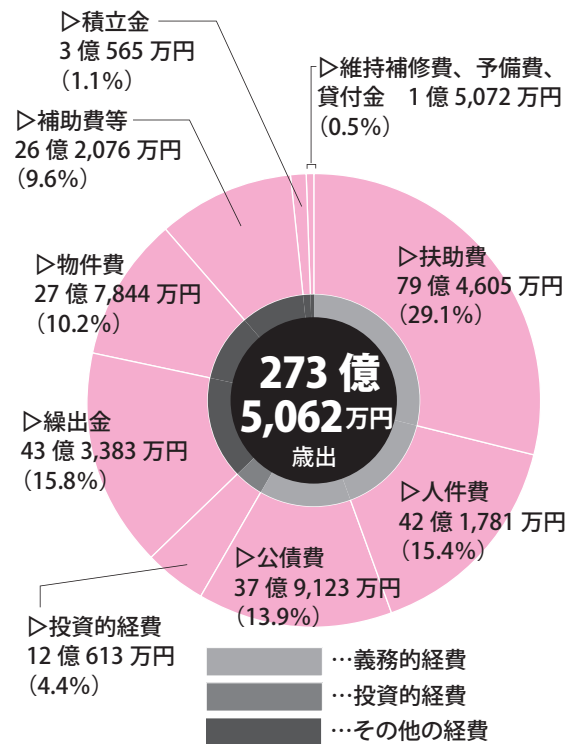
その他の経費は、前年度と比較して6.5%増の101億8,940万円（6億1,787万円の増）、歳出全体の37.3%としました。この増となった主な要因は、消費税増税に伴う臨時福祉給付金を3億186万円、子育て世帯臨時特例給付金を1億361万円と見込んだことによるものです。

■ 扶助費の推移

H21～24 は決算、H25 は決算見込み、H26 は当初予算



歳出 使いみちの「性質」別内訳グラフ



歳出 市民一人あたりの予算

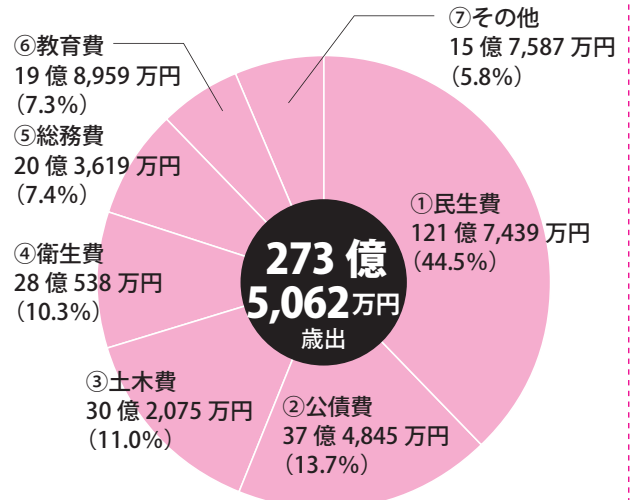
平成26年度の歳出予算額を、市民1人あたりに置き直すと…
※平成26年1月1日現在 7万6,520人で計算

●市民一人あたりの予算…35万7,431円

- ①民生費（高齢者や児童の福祉などに）— 15万9,101円
- ②公債費（借入金の返済に）— 4万8,987円
- ③土木費（道路・河川・公園などの整備に）— 3万9,477円
- ④衛生費（ごみ処理や病気予防に）— 3万6,662円
- ⑤総務費（庁舎管理や税金徴収などに）— 2万6,610円
- ⑥教育費（学校、公民館、生涯学習に）— 2万6,001円
- ⑦その他（消防活動、議会、商工などに）— 2万593円

市民1人あたりの歳出総額 **35万7,431円**

歳出 使いみちの「目的」別内訳グラフ



26年度の本市一般会計当初予算を、ご家庭におきかえてみると…？

おづみんの家計簿

ここでは泉大津市の平成26年度の予算を「おづみんの家計簿」としておきかえてみることにします。イメージがつきやすいように、一般家庭並みの5,000分の1に縮小してみました。家計簿なので、単純に比べられないところもありますので、あくまでも参考としてご覧ください。



歳入 おづみんの「収入」 ※()内は前年度比

収入の内容	収入額	市の歳入の内容	市の予算額
会社からの給料	223万円(+5万円)	市税	111億8,618万円(+2億5,622万円)
パート・家賃収入	13万円(+1万円)	使用料・手数料・分担金・負担金	6億5,888万円(+2,886万円)
実家からの援助	245万円(▲9万円)	地方交付税・譲与税・交付金・国府支出金	122億3,697万円(▲4億4,596万円)
不動産収入	8万円(▲2万円)	財産収入・諸収入・寄附金	4億2,798万円(▲4,969万円)
銀行などからの借入金	49万円(▲29万円)	市債	24億5,820万円(▲14億4,700万円)
貯金の取崩し	8万円(±0)	繰入金	3億8,141万円(▲864万円)
前年度からの繰越	1万円(±0)	繰越金	100万円(±0)
1年間の収入合計	547万円(▲34万円)	1年間の歳入合計	273億5,062万円(▲16億6,621万円)

歳出 おづみんの「支出」 ※()内は前年度比

支出の内容	支出額	市の歳出の内容	市の予算額
食費	84万円(▲4万円)	人件費	42億1,781万円(▲2億621万円)
光熱水費	55万円(+5万円)	物件費	27億7,844万円(+2億8,428万円)
医療費・介護費用など	159万円(+9万円)	扶助費	79億4,605万円(+4億2,948万円)
ローンの返済	76万円(▲6万円)	公債費	37億9,123万円(▲3億3,182万円)
家・車の修理代など	2万円(±0)	維持補修費	1億2,371万円(+2,517万円)
会費・お祝い金など	53万円(+6万円)	補助費等(予備費含む)	26億4,576万円(+3億598万円)
子どもへの仕送り	87万円(+1万円)	繰出金	43億3,383万円(+3,325万円)
家の増改築・車の購入代など	24万円(▲44万円)	投資的経費	12億613万円(▲21億7,553万円)
友人へ貸したお金	1万円(±0)	出資金・貸付金等	201万円(+2万円)
貯金	6万円(▲1万円)	積立金	3億565万円(▲3,083万円)
1年間の支出合計	547万円(▲34万円)	1年間の歳出合計	273億5,062万円(▲16億6,621万円)

おづみんのローンと貯金(平成26年2月現在)

	家計の残高	泉大津市	市の残高
ローン	598万円(+3万円)	市債残高	299億672万円(+1億4,985円)
貯金(現金)	51万円(+16万円)	一般会計の基金残高	25億3,964万円(+7億5,323円)

おづみんの家計簿の円グラフ

